

発行者 : 検査課

掲示期限 : 令和4年6月30日 (木)

掲示許可 : 総務課



なすびの花

組織横断品質活動

工場内に、『工場管理』という月刊誌が置いてあります。

先日、バックナンバーを手に取って読んでみると、『組織横断品質活動』の記事が目にとまりました。

部門をまたがる全社的品質課題を解決する

というのが目的で、ここまで大仰なテーマを掲げてはないけれど、我が社で毎月実施している工場パトロールがこれに該当するなく、と思いつながら読みました。

現在、工場パトロールは、奇数月に本社施設内外を、偶数月に第二工場施設内外と第三倉庫内外を決まったメンバーで行っています。

現場の皆さんには、いつも作業中にもかかわらず、快く対応してくださって、本当にありがとうございます。

この工場パトロールは、ISO 9001(品質)の認証を受けた辺りから、品質保証室が工程パトロールとして開始したのが始まりです。

その後ISO 14001(環境)の認証を受けて、総務課も加わり、現在の工場パトロールの原形が出来上がりました。

最近の品質環境会議の中で、パトロールを行っているメンバーから、**全社員**での工場パトロールがでないか、と言ったお話が持ち上がりました。主な理由としては、次の3つがあります。

- ◆ **いつも同じメンバーで廻るより、色々な視点で見てもいい**
- ◆ **パトロールとパトロール結果にもっと興味を**

持ってもらいたい

活動が継続するように後任者に育ってもらいたい

工場パトロールは、主管部門は品質保証室ですが、内部監査と同様に、会社全体での仕事ではないでしょうか。

会議では特に反対意見もありませんでしたので、今後、全社員でのパトロールに移行していきたいそうです。

工場パトロールは、実施までに、テーマを考え、チェックシートの準備をし、メンバーの日程を合わせて実施し、指摘事項や秀逸だったポイントなどをまとめて、報告書を作成します。

そのあと、翌月の品質環境会議の場での報告と、是正処置内容の確認のためのフォローアップ活動を継続して行うなど、地味ながら意外と大変な活動です。

この辺りは現状2人で行っていますが、全員での活動となれば、組み分けを行い、この活動までを順番に担当していただくことになりそうです。

『工場管理』の記事によると、『組織横断品質活動』を行うことにより、部門間のコミュニケーションが良くなり、経営者や役員も品質状況を把握できると、全社を挙げての品質課題の解決につながっていくということです。

基本的には、作業の手を停めることのないように、実施して参りますので、今後、皆さんのご協力を願います。

今後、新体制での工場パトロールが、新しい風となり、更に会社の改善につながっていくことが、とても楽しみです。

線状降水帯予測

今年もまた、梅雨の季節となりました。

先月のニュースで、気象庁から『線状降水帯』に関する新しい取り組みが発表されましたね。

『線状降水帯』というのは、次々と発生する発達した積乱雲が列をなし、線状に組織化してしまい、数時間ほぼ同じ場所に居座って、とても危険な大雨を降らせます。

昨今、『線状降水帯』による顕著な大雨が日本のあちこちで発生し、甚大な災害が起こっています。

気象庁では今月1日より、この危険な『線状降水帯』が発生する可能性がある時に、『半日ほど前から、予測の情報が発表されます』。

まだ発生メカニズムに分かっていないことも多く、的中率は、4分の1程度ということですが、これからデータや情報を積み上げて、研究され、精度が上がっていくことでしょう。

我が社でも、何年前に大雨により帰宅困難を危惧して、半日程度で仕事を切り上げて、全員帰宅したことがあります。

雨の季節、普段から気象情報に注意し、防災意識を一層向上しましょう。

3月下旬頃から、亀岡市などを震源とした地震が多発しています。

食堂や工場内に『緊急時避難手順』など掲示しています。

しっかりと確認し、災害時の行動を日ごろからシミュレーションして備えてください！